

名古屋市感染症発生動向調査情報

2018年(平成30年)第49週(2018年12月3日～12月9日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2018年12月12日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：風しん〕

- 第49週(12月3日～12月9日)の風しんの患者報告数は2人で、第49週までの風しんの累計患者報告数は56人となりました。また、全国の風しんの累計患者報告数は2,454人(第48週まで)になりました。
- 首都圏を中心に風しんの届出数が大幅に増加しており、特に30代から50代の男性で多くを占めています。患者の風しんワクチン接種歴は、「なし」または「不明」が90%以上を占めています。
- 妊娠初期の妊婦が感染すると、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があります。
- 風しんの予防にはワクチン接種が有効であるため、過去に風しんにかかったことのない方や風しんの予防接種を受けたことのない方は、接種について検討が必要です。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の1.2人から2.0人に増加した。
- 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、前週の5.3人から6.5人に増加した。
- 水痘の定点当たり患者報告数は、前週の0.2人から0.5人に増加した。
- 伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は、前週の0.2人から0.5人に増加した。過去3年の同一週の平均との比較では、1.8倍多い報告数になった。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第49週	2類	結核	15	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、88歳、結核性胸膜炎 • 男性、58歳、結核性胸膜炎 • 女性、62歳、尿路結核 • 女性、90歳、肺結核 • 男性、86歳、肺結核 • 女性、96歳、肺結核 • 女性、78歳、肺結核 • 女性、24歳、肺結核 • 男性、80歳、肺結核 • 男性、87歳、肺結核 • 女性、57歳、肺結核 • 男性、74歳、肺結核 • 女性、29歳、肺結核 • 男性、76歳、肺結核 • 男性、21歳、無症状病原体保有者
2018年 第49週	4類	レジオネラ症	1	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、81歳、肺炎型、感染地域：名古屋市
2018年 第49週	5類	アメーバ赤痢	1	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、69歳、腸管アメーバ症、感染経路：性的接触（性交・経口・異性間）、感染地域：愛知県
2018年 第49週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、85歳、菌検出検体：腹水、菌種：<i>E.cloacae</i>、感染原因：以前からの保菌 • 男性、65歳、菌検出検体：胆汁、菌種：<i>E.coli</i>、感染原因：以前からの保菌
2018年 第49週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、87歳、菌検出検体：血液 • 男性、45歳、菌検出検体：髄液・血液
2018年 第49週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、28歳、早期顕症梅毒（1期） • 男性、76歳、無症状病原体保有者

2018年 第49週	5類	百日咳	8	<ul style="list-style-type: none"> 男性、7歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 男性、16歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 女性、13歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：国内（都道府県不明） 男性、13歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 男性、44歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：国内（都道府県不明） 男性、4歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 女性、7歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 男性、3歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：不明
2018年 第49週	5類	風しん	2	<ul style="list-style-type: none"> 女性、44歳、検査診断例、感染地域：東京都、アメリカ合衆国 男性、42歳、検査診断例、感染地域：不明

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第48週	5類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、66歳、晩期顕症梅毒

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2018年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	545（130） 〔1〕〔1〕【1】
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コ ロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	2
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	52（11）
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	1
4類感染症	E型肝炎	1
4類感染症	A型肝炎	24
4類感染症	チクングニア熱	1
4類感染症	つつが虫病	1
4類感染症	デング熱	4
4類感染症	日本紅斑熱	1
4類感染症	マラリア	1
4類感染症	レジオネラ症	51（1）
5類感染症	アメーバ赤痢	27
5類感染症	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	1
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	57
5類感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	8
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、 東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー 熱を除く）	13
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14
5類感染症	後天性免疫不全症候群	67（51）〈1〉

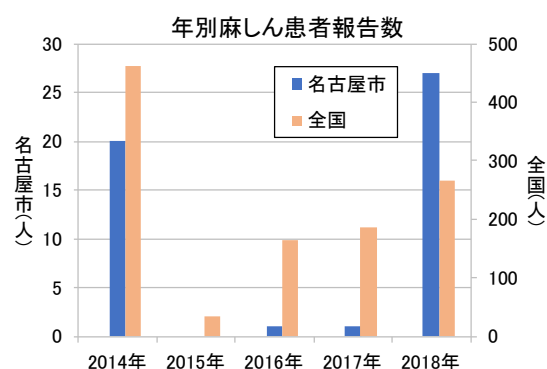
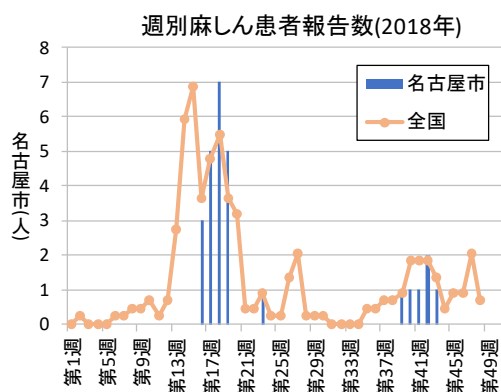
5 類感染症	シアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	12
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	68【1】
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	6
5 類感染症	梅毒	233（74）
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	4
5 類感染症	破傷風	3
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2
5 類感染症	百日咳	106
5 類感染症	風しん	56
5 類感染症	麻疹	27

累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2018年12月12日作成〕



週別麻しん患者報告数(2018年)

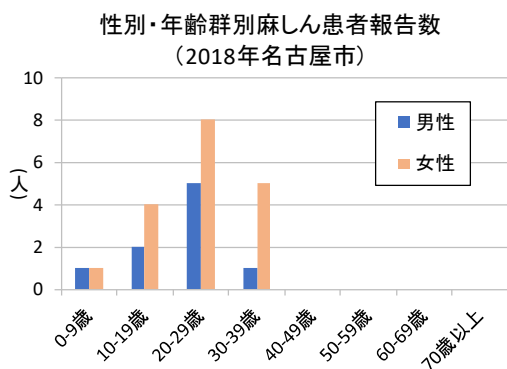
名古屋市	第16週 (4/16~ 4/22)	第17週 (4/23~ 4/29)	第18週 (4/30~ 5/6)	第19週 (5/7~ 5/13)	第23週 (6/4~ 6/10)	第39週 (9/24~ 9/30)	第40週 (10/1~ 10/7)	第41週 (10/8~ 10/14)	合計(人)
	3	5	7	5	1	1	1	1	
第42週 (10/15~ 10/21)	第43週 (10/22~ 10/28)								
2	1								

※第49週(12月9日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	267※3

※1: 第49週(12月9日)まで ※2: 12月10日時点 ※3: 第48週(12月2日)まで

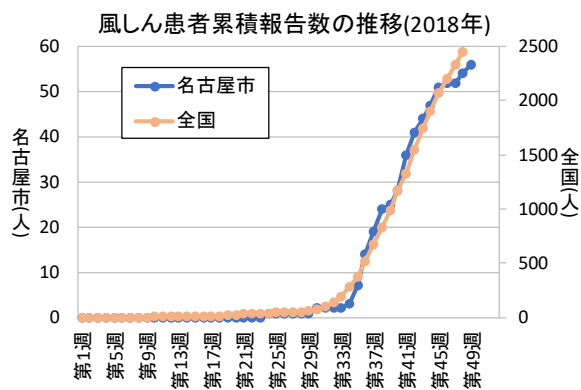
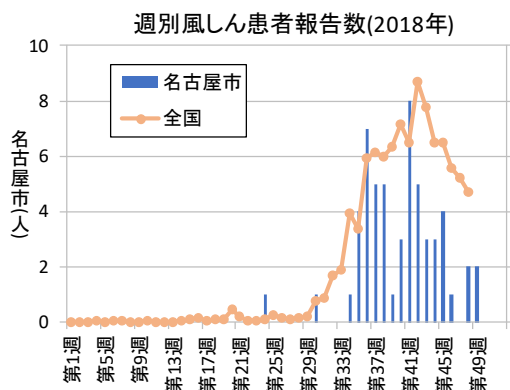


性別・年齢群別麻しん患者報告数(2018年名古屋市)

	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計(人)
男性	1	2	5	1					9
女性	1	4	8	5					18

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2018年12月12日作成〕



週別風しん患者報告数(2018年)

名古屋市	第24週 (6/11～ 6/17)	第30週 (7/23～ 7/29)	第34週 (8/20～ 8/26)	第35週 (8/27～ 9/2)	第36週 (9/3～ 9/9)	第37週 (9/10～ 9/16)	第38週 (9/17～ 9/23)	第39週 (9/24～ 9/30)	合計(人)
	1	1	1	4	7	5	5	1	
第40週 (10/1～ 10/7)	第41週 (10/8～ 10/14)	第42週 (10/15～ 10/21)	第43週 (10/22～ 10/28)	第44週 (10/29～ 11/4)	第45週 (11/5～ 11/11)	第46週 (11/12～ 11/18)	第48週 (11/26～ 12/2)		
3	8	5	3	3	4	1	2		
第49週 (12/3～ 12/9)	/								
2	/								

※第49週(12月9日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

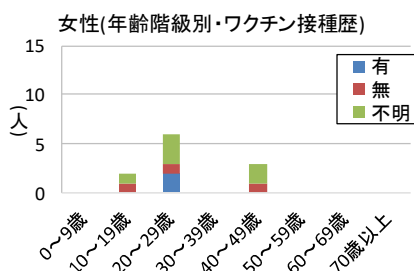
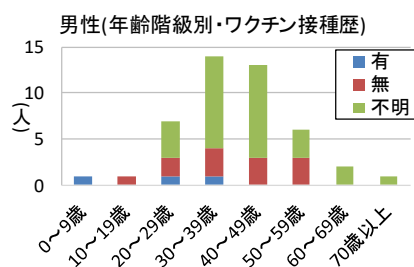
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	56※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	112※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	93	2454※3

※1: 第49週(12月9日)まで ※2: 12月10日時点 ※3: 第48週(12月2日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・ワクチン接種歴(2018年名古屋市)

	年齢階級	ワクチン接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳	1			1
	10～19歳			1	1
	20～29歳	1	2	4	7
	30～39歳	1	3	10	14
	40～49歳		3	10	13
	50～59歳		3	3	6
	60～69歳			2	2
	70歳以上			1	1
	計(人)	3	12	30	45
女性	0～9歳				0
	10～19歳		1	1	2
	20～29歳	2	1	3	6
	30～39歳				0
	40～49歳		1	2	3
	50～59歳				0
	60～69歳				0
70歳以上				0	
	計(人)	2	3	6	11
総計(人)		5	15	36	56



報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザ A 型 2 名 ノロウイルス 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 8 名、インフルエンザ B 型 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 4 名	定点医療機関（千種区）
インフル A の流行続く。山吹学区から東桜学区等周辺にも拡大してきた。	定点医療機関（東区）
インフルエンザ A 1 名	定点医療機関（東区）
6M F ノロ（＋）	定点医療機関（東区）
4歳女兒：ヒトメタニューモ感染症	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 7 名・A 型 B 型ともに陽性 1 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 2 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 1 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（中区）

インフルエンザA型：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型1名	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザA型：3名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A型 男性5名 女性2名	定点医療機関（南区）
インフルエンザ A型 男性1名	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型でした	定点医療機関（名東区）

◆2018年第49週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2018年第49週(2018年12月3日~12月9日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	31	22	6	10	14	2	3	6	5	5	5	10	8	2	9	5	143	1.8	1.5
○RSウイルス感染症	1		1	1	1							1			1	1	7	1.8	0.1
○咽頭結膜熱	2	10	3	8						3		2	3	1	5		37	1.0	1.9
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	5	4	12	2	3	2		3	1	2	5	9	2	13	10	87	0.9	0.9
○感染性胃腸炎	34	10	59	60	26	10	24			38	72	6	31	19	36	27	452	1.2	0.9
○水痘	2	2	1	9	2				1	6	1		1		6	2	33	1.9	1.4
○手足口病			1	2						1			1				6	0.3	0.3
○伝染性紅斑	2	1		6					1			5		1	13	3	32	2.3	1.8
○突発性発疹	2		1	3			1			2	1		1		1	1	13	0.8	1.1
○ヘルパンギーナ				1										1			2		0.9
○流行性耳下腺炎			1										1				2	0.3	0.3
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																1	1	0.5	0.4
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎							3										3		0.9
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		0.0
計	88	50	77	112	45	15	33	6	10	56	81	29	55	26	85	50	818		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1		1								3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2018年第49週(2018年12月3日~12月9日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均	
インフルエンザ	6.2	5.5	1.2	2.5	2.8	0.5	0.6	1.2	1.3	1.3	1.3	2.5	1.6	0.5	2.3	1.3	2.0	
RSウイルス感染症	0.2		0.2	0.3	0.2							0.3			0.3	0.3	0.1	
咽頭結膜熱	0.4	2.5	0.6	2.0						0.8		0.5	0.6	0.3	1.3		0.5	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.8	1.3	0.8	3.0	0.4	0.8	0.4		0.8	0.3	0.5	1.3	1.8	0.5	3.3	2.5	1.2	
感染性胃腸炎	6.8	2.5	11.8	15.0	5.2	2.5	4.8			9.5	18.0	1.5	6.2	4.8	9.0	6.8	6.5	
水痘	0.4	0.5	0.2	2.3	0.4				0.3	1.5	0.3		0.2		1.5	0.5	0.5	
手足口病			0.2	0.5						0.3			0.2		0.3		0.1	
伝染性紅斑	0.4	0.3		1.5					0.3				1.3		0.3	3.3	0.8	0.5
突発性発疹	0.4		0.2	0.8			0.2			0.5	0.3		0.2		0.3	0.3	0.2	
ヘルパンギーナ				0.3										0.3			0.0	
流行性耳下腺炎			0.2										0.2				0.0	
急性出血性結膜炎																		
流行性角結膜炎																	1.0	0.1

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

- **太字の数字** は流行発生警報
- **斜体の数字** は流行発生注意報
- 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。
- この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2018年第49週(2018年12月3日～12月9日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	1	4	4	5	8	6	8	8	10	10	6	22	1	11	14	9	8	5		3

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	3	2	1		1									
咽頭結膜熱		1	10	7	5	2	7			4			1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	3	6	7	20	19	13	7	3	2		6
感染性胃腸炎	3	29	72	49	38	41	39	16	15	18	11	21	11	89
水痘			4	1		3	4	8	5	6	1	1		
手足口病		1	1			2	1				1			
伝染性紅斑					6	1	6	3	5	4	1	6		
突発性発しん	1	4	7	1										
ヘルパンギーナ				1		1								
流行性耳下腺炎							1					1		

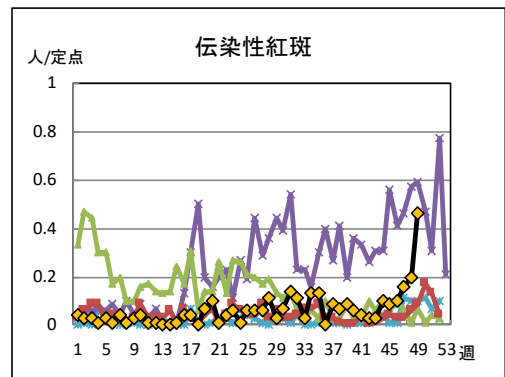
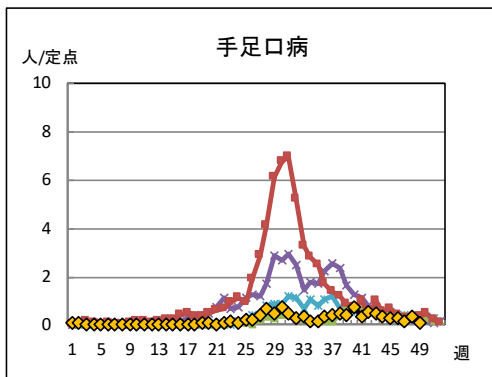
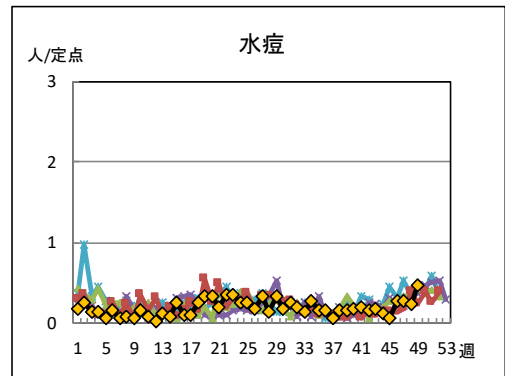
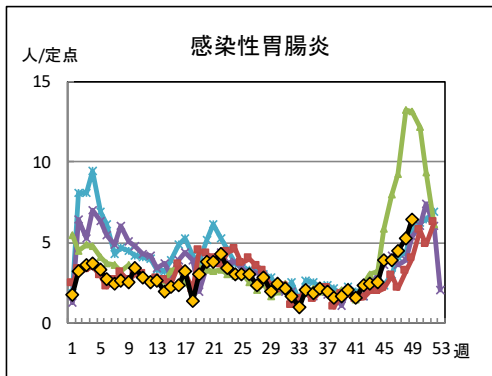
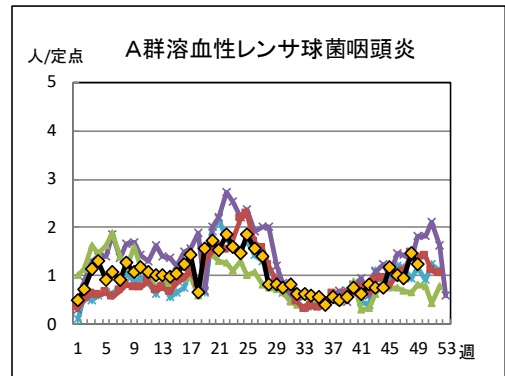
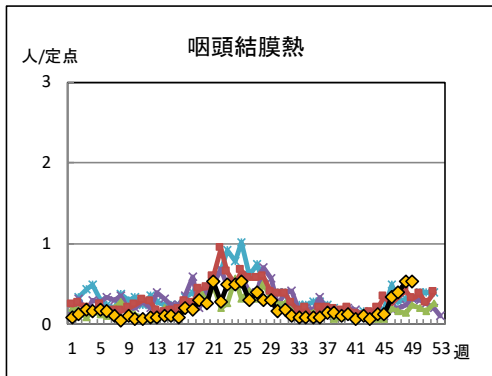
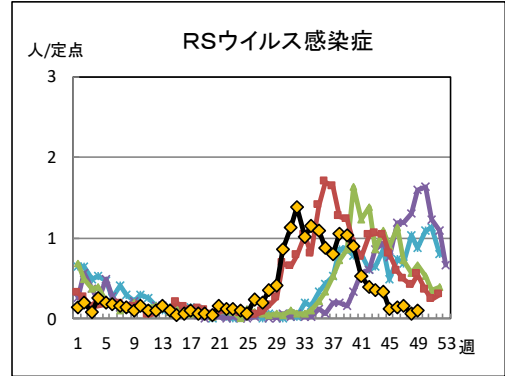
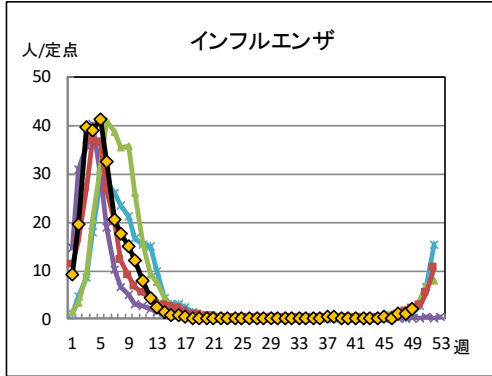
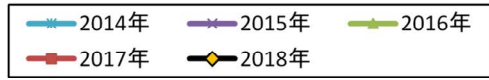
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎														1						

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎		2		1												
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

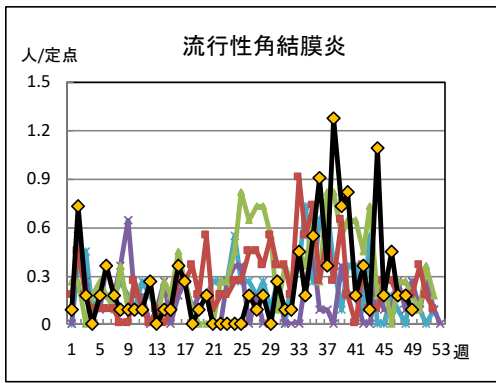
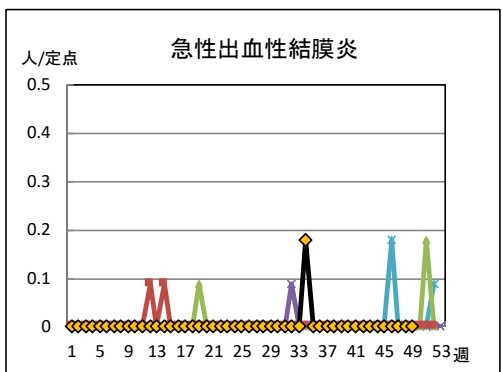
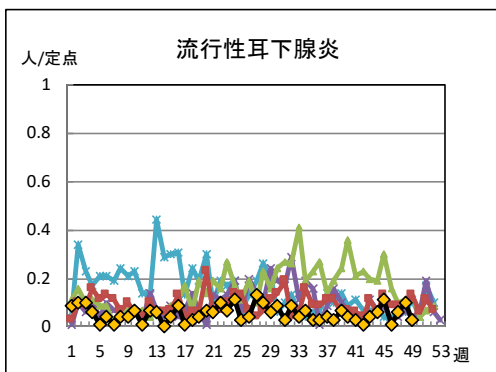
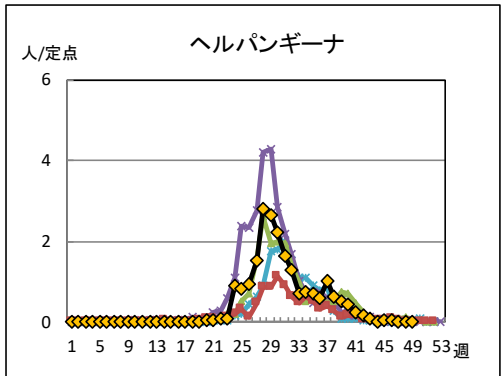
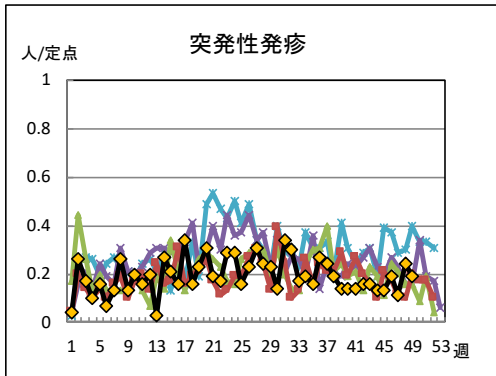
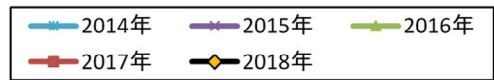
〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3カ所)〕

【2018年第49週:0件】 【2018/2019シーズン累計数:1件】

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2018年第49週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2018年第49週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2018年11月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2018年11月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	2		5
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		2		2
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	3	4	0	7

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2018年11月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2						1	1	1		5
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2										2
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	7

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2018年11月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別で見ると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマの順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性116人、女性は39人でした。（表2、図1参照）

2018年11月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は20歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は15歳から19歳、25歳から29歳、35歳から39歳および45歳から49歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは25歳から39歳および45歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は15歳から39歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から29歳、35歳から39歳および45歳から54歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から24歳および30歳から34歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は20歳から24歳の年齢階級で報告がありました。（表2、図2参照）

表1.性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2018年11月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	4		1	1	2	35	5			19	7			2		2	78
性器ヘルペスウイルス感染症			1			5	2			2	5						17
尖圭コンジローマ					1	4	2			5					3		17
淋菌感染症	1				2	16	6			14				2		2	43
計	5		2	1	5	60	15			40	12			7		8	155

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2.性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2018年11月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性			16	13	5	3	4	6	1	4	52
	女性		3	12	5	4	2					26
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		1		4		1		3			9
	女性			1	2		2		1	2		8
尖圭コンジローマ	男性				1	3	3		4	1	3	15
	女性			1		1						2
淋菌感染症	男性		1	14	5	8	4	4	1	1	2	40
	女性			3								3
計	男性		2	30	23	16	11	8	14	3	9	116
	女性		3	17	7	5	4		1	2		39

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2018年11月)

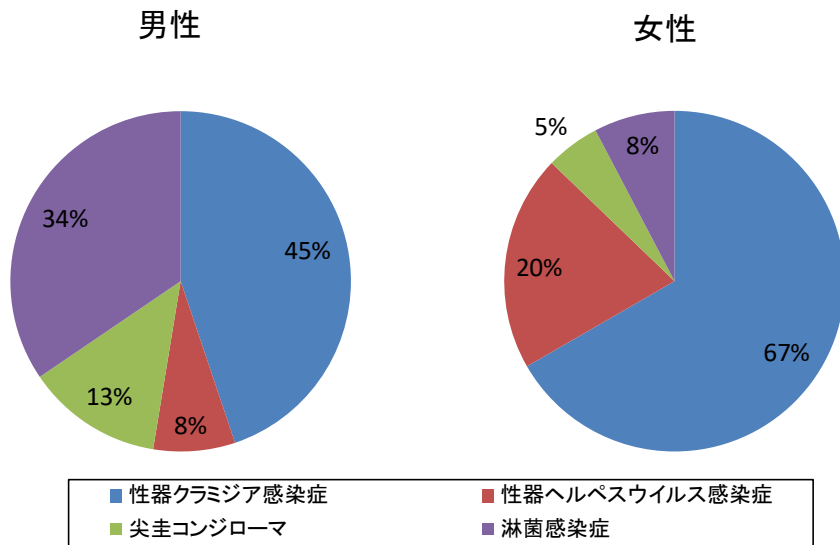


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2018年11月)

